

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

江本 伸哉

1. 授業の概要(ねらい)

われわれは日々、無意識のうちに「日本経済」の中で暮らしています。しかし、それがあまりにも日常的なために、日本経済のしくみについてじっくりと考える機会が少ないのではないかと思います。

そこで、秋期(Ⅱ)は春期(Ⅰ)に続いて、まず『池上彰のやさしい経済学2 ニュースがわかる』(日本経済新聞出版社)について、各章を2つに分けて、ゼミ生がグループワークによって分担して、パワーポイントと配布レジュメを使って、その要点と疑問点、調べて分かったことを報告してもらった後、他のグループとの間でQ&Aをしてもらいます。その後、私が補足、解説していきます。

池上さんは難しい経済・政治・国際・社会問題を分かりやすく解説する第一人者で、日本経済についても、よくご存知です。この本をしっかり読みこなし、ゼミでみんなの前で発表することによって、日本経済の基礎をひとつと理解します。同時に、社会に出てから必ず必要になる読解力、調査能力、プレゼンテーション能力を高めます。

私からゼミ生の皆さんの今後の研究テーマのヒントや就活のヒントも提供します。

ゼミで感じた疑問、感想・意見、要望・改善提案などは毎回ミニツツペーパー(MP=復習問題)に書いて提出してください。次回のゼミで「MP通信」にまとめてお答えします。

2. 授業の到達目標

- ①教科書2冊を1年かけてじっくり、深く読み通す根気を身につける。
- ②日本経済についての基礎的な知識を理解し、他の人に説明できるようになる。
- ③グループ内で責任を果たし、メンバーと協力して作業を進められるようになる。
- ④グループ内で教科書の要約(レジュメ)を作成し、その疑問点を自分で調べ、分かったことをパワーポイントで操作しながら発表できるようになる。
- ⑤自分なりの問題意識をもち、調べたこと、分かったことをレポートの形で論理的にまとめられるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①出席回数が3分の2(原則として10回、公欠は除外して計算)未満の場合は、(たとえ期末レポートを提出しても)単位を与えません。
- ②発表内容(プレゼンテーション、パワポ、レジュメの創意工夫)50点=グループ単位で評価します(グループ内でよく相談してしっかり準備しているか)。
- ③期末レポート50点=個人単位でレポートを評価します(グループは無関係)。
- ④ゼミへの貢献、積極性、グループ内でのリーダーシップ、MPでの鋭い質問、感想・意見、要望・改善提案に対しては、②③とは別に特別加算(5~20点)をします。

4. 教科書・参考文献

教科書

池上彰 池上彰のやさしい経済学2 ニュースがわかる 日本経済新聞出版社

参考文献

藤井彰夫 日本経済入門 日本経済新聞出版社

塚崎公義 一番わかりやすい日本経済入門 河出書房新社

日経ビジネス 日本経済入門 日経BP社

5. 準備学習の内容

- ①ゼミが始まる前に必ず教科書を手に入れて、いちど読み通してください。分からないことがあっても構いません。ゼミで質問して下さい。ゼミで毎回提出してもらうミニツツペーパー(MP=復習問題)に書いてもらっても構いません。
- ②日本経済は生き物です。そのリアルな動きをつかむために、『日本経済新聞』(紙の新聞でも、スマホやタブレット、PCで読める電子版でも構いません)を毎日読む習慣をつけることを強くお勧めします。図書館では無料で読めます。企業や役所への就活や就職後も、『日経』がいちばん役に立ちます。

6. その他履修上の注意事項

- ①ゼミは経済学部生の中核になる存在で、毎回出席が原則です。出席が3分の2(公欠がない場合は10回)未満の場合は、単位を与えません。
- ②公欠の場合は1か月以内に届けを出しましょう。届けを出さないと欠席扱いになってしまいます。
- ③授業に無関係な私語やスマホ操作、食事は原則として禁止です。
- ④ゼミ生の集中力を保つため、途中で5分間の休憩を取ります。休憩中は私語、スマホ操作、トイレ、ストレッチ体操など自由にどうぞ。

7. 授業内容

- 【第1回】 ①夏休みをどう過ごしたか レジュメ&パワポ発表(内容自由、動画、画像歓迎)=江本&全ゼミ生
②来年度ゼミ生募集の協力者募集(特別加算あり)
- 【第2回】 教科書第1章「インフレとデフレーション合成の誤謬」前半(P7~33)=グループ発表①
- 【第3回】 教科書第1章「インフレとデフレーション合成の誤謬」後半(P34~56)=グループ発表②
- 【第4回】 教科書第2章「政府が日銀か――財政政策と金融政策」前半(P57~77)=グループ発表③
- 【第5回】 教科書第2章「政府が日銀か――財政政策と金融政策」後半(P78~92)=グループ発表④
- 【第6回】 教科書第3章「バブルへGO! ―なぜバブルが生まれ、はじけたか?」前半(P93~119)=グループ発表⑤
- 【第7回】 教科書第3章「バブルへGO! ―なぜバブルが生まれ、はじけたか?」後半(P119~136)=グループ発表⑥
- 【第8回】 教科書第4章「円高と産業空洞化――日本に残るか海外に出るか」前半(P137~161)=グループ発表⑦
- 【第9回】 教科書第4章「円高と産業空洞化――日本に残るか海外に出るか」後半(P162~186)=グループ発表⑧
- 【第10回】 教科書第5章「円高と産業空洞化――日本に残るか海外に出るか」前半(P187~210)=グループ発表⑨
=期末レポート課題出題
- 【第11回】 教科書第5章「円高と産業空洞化――日本に残るか海外に出るか」後半(P210~232)=グループ発表⑩
- 【第12回】 教科書第6章「リーマン・ショックとは何だったのか?」前半(P233~257)=グループ発表⑪
- 【第13回】 教科書第6章「リーマン・ショックとは何だったのか?」後半(P257~280)=グループ発表⑫

- 【第14回】 教科書第7章「日本はどうして豊かになれたのか?—戦後日本経済史」前半(P281~302)=グループ発表⑬
- 【第15回】 教科書第7章「日本はどうして豊かになれたのか?—戦後日本経済史」後半(P302~322)=グループ発表⑭
=期末レポート提出締切